



あいさつ

関東中学校体育連盟

会長 大河原 嘉朗

平成27年度第40回関東中学校剣道大会が、多くの関係者のご尽力とご支援をいただき、ここ神奈川県小田原アリーナ競技場において盛大に開催できますこと、大変嬉しく感謝申し上げます。

この関東中学校体育大会は、中学校教育活動の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与えること、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図ること、心身ともに健康な中学生の育成と生徒相互の親睦を図ることを目的として開催される大会であります。今年も8都県の中学生が、関東中学校体育大会に集うことができたことを大変嬉しく思います。

さて、本大会に臨まれる選手の皆さん、関東各都県の厳しい予選を勝ち抜いて、代表として出場されましたこと誠におめでとうございます。皆さんはこれまでたゆまぬ努力を続けられ、見事各都県の予選を勝ち抜いた代表であり、精鋭です。皆さんの努力と強い意志に心より敬意を表します。また、今日に至るまで熱心にご指導いただいた監督やコーチの方々、そして、選手を温かく見守ってくださったご家族の方や地域の方々に感謝申し上げます。

スポーツは、人生をより豊かに、充実したものにする世界共通の文化であり、活力ある健全な社会の形成に大いに貢献するものであります。現在多くのスポーツ大会が各地で開催されるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も合わせて、スポーツに対する関心は一層高まっています。同様に今大会における皆さんの活躍も、関東各地の大会で熱戦を繰り広げた選手たちや出場校の仲間、そして郷土の方々が心から声援を送っているはずですよ。

いよいよ夢である優勝を目指し、熱い戦いの日々が始まります。今大会で、自分の力と技を遺憾なく発揮し、素晴らしい試合を見せてください。ルールを守り、中学生らしい爽やかな競技態度で多くの人に感動や勇気を与えてください。そして、お互いの健闘を讃え、友情を深め、中学校時代のかげがえのない思い出をつくってほしいと願っています。

また、今大会の開催にあたり、昨年度に引き続き、4年前の東日本大震災の復興支援活動に取り組んでまいります。被災地における爪痕はあまりにも甚大であり、被災地の復興にはまだ多くの時間と労力が必要です。今後も復興支援活動には、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

終わりに、本大会への出場において、熱心にご指導いただきました参加各校の先生方、開催にあたりご尽力・ご指導を賜りました各都県教育委員会をはじめとする関係者の皆様、そして運営にあられる競技部役員・生徒役員の皆様に心より感謝を申し上げ、あいさつといたします。



あいさつ

神奈川県中学校体育連盟

会長 板橋 一幸

平成27年度第40回関東中学校剣道大会が、関東各都県から多くの選手・関係者の皆さまをお迎えして、ここ神奈川県「小田原アリーナ」において、盛大に開催されることは、この上ない喜びであり、神奈川県中学校体育連盟及び神奈川県の中学生すべてが、心より歓迎申し上げます。

選手の皆さん、関東大会出場おめでとうございます。関東1都7県の厳しい予選を勝ち抜かれ、歴史と伝統のある本大会に出場する栄冠を獲得されました。ここに至るまでのたゆまぬ鍛錬と努力に敬意を表し、心から拍手を送りたいと思います。また、これまで暖かく支えてくださいましたご家族、地域の皆さま、そして、熱心に指導されてこられました先生方にも、深い敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

さて、学校教育活動の一環として行われる本大会は、スポーツの実践を通じて、知力・体力・精神力の向上を図り、心身ともに健康な中学生を育むとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ能力や態度を育て、体力向上や健康増進を一層はかることを目的に開催しています。また、都県間、学校間等生徒相互の親睦と交流をはかり、友情を深めるとともに、社会生活に必要な生活態度を身につけることや、豊かな心や健やかな体等を成長させるものでもあります。

選手の皆さんは、ともに励まし合いながら練習に取り組んできた仲間や、さまざまな面で支えとなってくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、今まで培ってきた力を思う存分に発揮してください。皆さんが全力で競い合う態度や姿勢は、人々に感動を与え、生涯思い出に残る大会となるはずです。そして、選手の皆さん一人ひとりが、神奈川県小田原の地で学び得たことをもとに、さらに大きく飛躍されることを願っています。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりまして、多大なるご支援・ご協力を賜りました神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会ならびに、神奈川県剣道連盟等関係諸団体をはじめ、大会運営に当たられる役員の皆さまに、心より感謝申し上げます。大会の成功を祈念し挨拶といたします。



あいさつ

神奈川県教育委員会

教育長 桐谷 次郎

平成27年度第40回関東中学校剣道大会が、ここ神奈川の地で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、各都県の厳しい予選を勝ち抜き、本大会へ出場される選手の皆さん並びに大会関係者の方々を心から歓迎いたします。

本大会は、学校教育の一環として、広くスポーツに親しむ機会を提供し、体力や技能の向上等を図り、心身ともに健全な生徒の育成を目指して開催されます。

皆さんが勉学との両立を図りながら熱心に部活動に取り組む中で得られた様々な経験は、これからの人生においてかけがえのない財産になることでしょう。

剣道は、相手を打つ決心と竹刀と身体の動き「気剣体の一致」と、攻め技の直後も相手に備えて保つ心の構え「残心」が必要な競技で、わが国発祥の伝統あるスポーツです。また、相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んじ、節度ある生活態度を身につけ、生涯にわたる人間形成の道を見出すものであると言われてしています。

出場される選手の皆さんは、これまでに厳しい自己管理や大変な稽古を乗り越えられ、今日の日を迎えられたことと思います。選手の皆さん一人ひとりがお互いに交流を深め、友情の輪を広げるとともに、自らの夢をしっかりと掴んでください。

終わりに、選手の皆さんを日ごろから熱心に御指導くださった顧問の先生方をはじめ、御家族の方々に深く敬意を表しますとともに、大会の開催にあたり、御支援、御協力くださった関係者の方々に心から感謝申し上げます、あいさつといたします。



歓迎のごあいさつ

小田原市長 加藤 憲 一

第40回関東中学校剣道大会が、関東1都7県を代表する選手・関係者の皆さんをお迎えし、「城下町おだわら」を会場として盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

さて、剣道は、本市はもちろん日本全国にも愛好者が多く、特に青少年の健全育成に向けた学校の部活動としても大変に盛んです。胴着を身に付け修練に打ち込むひたむきな姿は、見ている私たちに大きな感動を与えると同時に、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」との理念は、健全な社会の形成に大きく貢献しております。

各都県における厳しい予選を勝ち抜いて代表となられた選手の皆さんには、日ごろの練習の成果を十分に発揮していただくとともに、剣道を愛する多くの仲間とお互いの健闘を称え、友情の輪を広げられることを願っております。

ここ小田原は、南に相模湾、西には富士山や箱根連山を間近に望む雄大な自然に恵まれ、長い歴史の中で、北条氏の「城下町」として、箱根をひかえた東海道屈指の「宿場町」として、政財界人や文化人に愛された「別荘・居住地」として、多くの人が集い、産業や文化を育みながら発展してきました。大会の合間に是非本市に親しんでいただき、再びお越しいただくよう心から願っております。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました多くの大会役員の皆様をはじめ、関係の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、本大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のあいさつといたします。



あいさつ

小田原市教育委員会

教育長 栢 沼 行 雄

第40回関東中学校剣道大会の開催にあたり、心から歓迎とお祝いを申し上げます。各都県の厳しい予選を勝ち抜き、本大会への出場を果たされた選手・監督ならびに役員の皆さん、豊かな自然環境と歴史・伝統・文化に育まれたまち小田原にようこそおいでくださいました。真心をこめた温かい心で皆さんをお迎えします。

本大会の会場である小田原市総合文化体育館「小田原アリーナ」は、富士・箱根の山々を仰ぎ、酒匂川の爽やかな風を受ける立地にあり、昨年は全国高等学校総合体育大会剣道大会が行われました。

剣道における、正しく真剣に学び、心身を練磨して旺盛なる気力を養い、礼節をととぶなどの修練の心構えは、中学生にとって大切なものです。

選手の皆さんには、関東の精鋭が集うこの機会において、今日まで仲間たちと育んできた、強くたくましい心と技を存分に発揮し、中学生らしいさわやかな態度で、剣道を愛する競技者として交流の輪を拓げ、思い出に残る素晴らしい大会となることを期待しています。

最後になりましたが、本大会の開催に向けてご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、大会の成功をご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



あいさつ

神奈川県剣道連盟
会長 小林 英雄

平成27年度第40回関東中学校剣道大会が盛大に開催されますことを衷心よりお喜び申し上げます。各都県の厳しい予選を勝ち抜き、本大会に出場された選手の皆様には誠におめでとう御座います。

この会場に参加されている皆様にはすでにご承知のことと思いますが3年に1度、開催される第16回世界剣道選手権大会で過去最多、世界57カ国（前回は48カ国）の男女の剣士達が5月29日（金）～31日（日）まで武の殿堂日本武道館に集い激しい戦いが繰り広げられました。前回イタリアで開催された大会で日本開催が決まってからあっという間の3年でした。今回の日本男子代表メンバーは、3年前では予想もつかなかったのは学生剣士の竹ノ内祐也選手、村瀬諒選手、山田凌平選手の3名が選出されるなど世代交代が一気に進んだ日本男子代表の選手でした。その中で3年前は山田選手は中学3年生であり、この大会に出場している皆さんと同年齢であります。

試合は男女団体・個人4部門で日本が完全優勝を遂げました。団体戦は個人戦とは違うスリルがあり皆様方も手に汗を握られ観戦されたことと思います。世界の選手は日本の剣道の歴史や文化また武士道にも大きな関心を持っています。また日本武道館で試合することは世界の剣道人にとっても大きな目標になったはずであります。

今回おこなわれる関東中学大会も日頃鍛錬された心技体を十分発揮して、将来世界大会の選手出場に思いを乗せて正々堂々とした試合展開を期待しております。歴史の地ここ小田原での勝敗も大切ですが、他校の選手の皆様との交流も多いに深めて頂き、いろいろな意味で青春の思い出になれば嬉しく思います。

終わりに本大会を開催するに当たり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位の皆様にご心より感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と今後のますますの発展を祈念いたしまして 歓迎のあいさつと致します。



歓迎のことば

横浜市立港中学校

剣道部主将 松 井 恵 利

厳しい予選を勝ちぬき、この小田原の地へとお越しくくださった各都県代表の選手の皆様。関東大会ご出場、誠におめでとうございます。心より歓迎いたします。

ここ小田原は、戦国の時代は総べていました。上杉謙信や武田信玄の攻撃にも耐え、難攻不落の名城と言われる小田原城跡は国の史跡にも指定されています。

さて、皆さんが関東大会出場に至るまでの道のりには、さまざまな困難があったと思います。何の困難もなくここまで勝ち進んだ学校は少ないのではないのでしょうか。しかし皆さんは、顧問の先生方やチームメイト達と切磋琢磨して揺るぎない信頼と絆を築き、たくさんの応援者の声援を受けてその困難を乗り越えてこれたのではないのでしょうか。

努力を『カタチ』にすることはとても難しいことだと思います。それを叶えた皆さんは、私にとって憧れであり、心から誇れる同志でもあります。

今、第40回関東中学校剣道大会が始まります。本大会が始まり40回という節目の記念大会です。どうぞ、正々堂々と勝負に挑んでください。負けることは悔しいことですが、どの試合も「やりきったあ！」と笑顔で言い切れる試合になることを願っています。

最後に、本大会の成功に向けて、ご尽力を頂いた先生方、生徒役員の皆さん、すべての関係の方々に感謝を申し上げ、歓迎の言葉とさせていただきます。

皆さん、頑張ってください！